

東京女子医科大学八千代医療センター 乳腺・内分泌外科 診療科紹介

乳腺・内分泌外科では、乳癌診療を中心としています。

乳がんは女性のがん罹患率第1位で、がん診療では知識として欠かせない癌腫です。

診断から治療まで継続して診療を行います。

残念ながら再発した場合は、再発治療から終末期まで患者さんと関わります。

当科の診療でチーム医療・多職種連携の大切さを感じてもらえると思っています。

① 外科手技の基本を習得することができます

- ・メスでの皮膚切開
- ・電メスの使い方
- ・糸結び
- ・皮膚縫合

を実践していただきます。

また、形成外科と合同で自家組織移植を用いた同時乳房再建を行っています。



② 化学療法の基本的な考え方が学べます

- ・化学療法患者の適応・管理
- ・副作用マネジメントの大切さ

全ての癌診療に共通する基本的な化学療法の知識を習得していただきます。

③ 緩和治療も大切ながん診療のひとつです

乳がんは予後良好な癌腫ではありますが、再発もしくは進行乳癌は少なからず経験するものです。

そのとき大切になるのは、

- ・症状緩和
- ・ACP（アドバンス・ケア・プランニング）です。

患者さんとしっかり向き合い、対話することを学んでいただきます。

